

第 39 回 歴史地震研究会 総会資料

日時：2022 年 9 月 17 日（土）
場所：関西大学高槻ミュージーズキャンパス

総 会 次 第

開会

定足数確認、会長挨拶
議長選出

第一号議案 2021 年度事業報告および決算報告
幹事会から 2021 年度事業報告および決算報告を説明し、承認を求めます。
監査役から会計監査報告について説明があります。

第二号議案 会長選出
幹事会に届け出があった立候補者について説明します。会長の選出を求めます。

第三号議案 監査役選出
幹事会に届け出があった推薦について説明します。監査役の選出を求めます。
2022 年度会長挨拶、2022 年度役員指名

第四号議案 2022 年度事業計画および予算案
幹事会から 2022 年度事業計画および予算案を提案し、承認を求めます。

議長解任

閉会

第一号議案 2021年度事業報告および決算報告

1. 2021年度事業報告

2021年度（2021年8月1日～2022年7月31日）は、以下の事業を行った。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 歴史地震研究会（オンライン苫小牧大会）の開催

以下の通り、第38回歴史地震研究会（オンライン苫小牧大会）を開催した。

主催：歴史地震研究会

会場：オンライン

日程：2021年9月2日（木）～3日（金）

2日：研究発表会

3日：研究発表会・総会

参加者は約96名だった。発表数は口頭33件、ポスター9件。

② 歴史地震研究会（高槻大会）の開催準備

第39回歴史地震研究会（高槻大会）の開催に向けて準備した。

主催：歴史地震研究会

会場：関西大学高槻ミューズキャンパス

日程：2022年9月17日（土）～19日（月）

17日：研究発表会・総会・懇親会

18日：研究発表会

19日：巡検

懇親会の開催を予定していたが感染症の拡大により8月12日の幹事会にて中止を決定した。

(2) 会誌の刊行

2022年8月10日に『歴史地震』第37号を発行した。論説5編、資料5編、報告2編、訂正1編、講演要旨36編、研究会記事1編を掲載し、総頁数は167ページであった。

発行部数は420部。発行時の会員（長期会費未納会員を除く）262名および無償送付先（大学・公立図書館等）122箇所を送付した。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、以下の活動を行った。

① 歴史地震研究会ホームページ

ホームページを運用中である。2021年度中の主な更新内容は、『歴史地震』36号（2021）のPDF版の掲載、総会と幹事会議事録の掲載、第39回歴史地震研究会（高槻大会）の案内の掲載である。

② 大会の周知

大会への発表募集・会場等の案内や公開シンポジウムについて、日本地震学会・日本活断層学会・日本地質学会・史学会・人文地理学会・日本史研究会等へニュースレター・メーリングリスト・ホームページ掲載および掲示を通して告知を行った。

③ メーリングリストの管理

研究会メーリングリストおよび「musha」への登録・更新・不達のチェックなどを行った。

④ 問い合わせの対応

研究会への問い合わせについて、対応を行った。

(4) その他

① 総会

2021年9月3日（金）に総会が招集された。総会参加者は45名、委任状提出35名であった。総会議事録は、ホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』37号に収録した。

② 幹事会

2021年度は、以下5回の幹事会を行い、歴史地震研究会の運営・事業について議論した。監査役には幹事会への出席を求め、適切な審議が行われるように努めた。幹事会の議事録をホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』37号にも収録して会員に審議内容を伝えた。

2021年8月12日（2021年度第1回歴史地震研究会幹事会）

2021年10月7日（2021年度第2回歴史地震研究会幹事会）

2022年1月13日（2021年度第3回歴史地震研究会幹事会）

2022年4月26日（2021年度第4回歴史地震研究会幹事会）

2022年6月22日（2021年度第5回歴史地震研究会幹事会）

③ 社会貢献活動

高清水会員の歴史地震20号の論文「北海道における津波に関するアイヌの口碑伝説と記録」が、2022年3月9日（水）午後6時台にHBC北海道放送の「今日ドキッ！」内にて紹介された。

2. 2021年度決算報告

2021年度（2021年8月1日～2022年7月31日）の決算は次表のとおり。

歴史地震研究会 2021年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2021年度会費	1,004,000	1,004,000	0	4000円×251名
	2020年度会費	0	8,000	8,000	4000円×2名
	2022年度会費	0	16,000	16,000	4000円×4名
	会誌バックナンバー代	0	17,110	17,110	会誌14部(送料込)
	会誌口絵代・超過頁代	0	93,500	93,500	口絵×4, 超過頁×1
	寄付金	0	30,000	30,000	小磯修一会員
	前年度繰越	3,027,824	3,027,824	0	
	合計	4,031,824	4,196,434	164,610	

支出	2021年度オンライン苦小牧大会関係費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	次年度以降大会準備費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	歴史地震37号印刷・発送代	810,000	598,565	▲ 211,435	420部, 振込送料165円込
	歴史地震編集費	25,000	10,220	▲ 14,780	編集補助, 振込送料220円込
	HP管理費	10,000	9,385	▲ 615	振込送料165円込
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	功績賞関連費	100,000	0	▲ 100,000	オンライン大会のため
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	8,706	▲ 21,294	資料送付料・他
	合計	1,275,000	626,876	▲ 648,124	

次年度繰越金	2,756,824	3,569,558	812,734	
--------	-----------	-----------	---------	--

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第18条第2項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第18条第4項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。

第四号議案 2022年度事業計画および予算案

1. 2022年度事業計画案

2022年度(2022年8月1日～2023年7月31日)は、以下の事業を行う計画である。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 歴史地震研究会2022年公開講演会の開催

2021年苫小牧大会で予定されていたが中止となった市民講演会を「北海道胆振東部地震から4年～歴史と地層から古地震をさぐる～」と題して、2022年9月3日（土）14時から苫小牧市民会館小ホールで開催する。

〈苫小牧市HP 歴史地震研究会2022年公開講演会について〉

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/bosai/jishin/topics/rekisiijisin.html>

② 第39回歴史地震研究会（高槻大会）の開催

第39回歴史地震研究会（高槻大会）を関西大学高槻ミュージックキャンパスにおいて開催する。オンラインでの開催は2019年徳島大会以来となる。

③ 第40回歴史地震研究会の開催準備

以下の要領で第40回歴史地震研究会を開催するために必要な準備を行う。

会場：小田原市内（予定）

日程：2023年9月1日（金）～4日（月）（予定）

公開講演会（3日）、研究発表会、懇親会、総会、巡検

④ 第41回歴史地震研究会の開催準備

第41回歴史地震研究会を開催するための候補地選定および日程調整などの準備を行う。

(2) 会誌の刊行

会誌『歴史地震』第38号を2023年7月末頃に発行する。第39回歴史地震研究会での発表に基づく論文を中心に募集するが、第38回以前の歴史地震研究会での発表に基づく論文や、未発表原稿についても募集を行う。編集作業は会誌編集規定に沿って行う。『歴史地震』第38号の原稿の締め切り日は2022年11月30日（水）である。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、歴史地震研究会ホームページと連絡用メーリングリストの運営・管理を行う。なお、会員向けのお知らせは、件名に「[mem_hes:*****]」（*****は通番）がついているメールである。未登録者は連絡いただきたい。通常は幹事会からの案内のために使用し、配信には広報担当の確認が必要である。また、メーリングリストmushaについても運営・管理を行う。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する。

(5) その他

上述の各項に関して、適切な審議を行うため、2022年9月17日（土）の総会および監査役を招いた年間5回程度の幹事会を開催する。

2. 2022 年度予算案

2022 年度（2022 年 8 月 1 日～2023 年 7 月 31 日）の予算案は次表のとおり。

歴史地震研究会 2022年度 予算案

項目		金額	内訳
収入	2022年度会費	1,016,000	4000円×254名(会員258名-納入済み4名)
	前年度繰越	3,569,558	
	合計	4,585,558	
支出	2022年度高槻大会関係費	100,000	
	次年度以降大会準備費	150,000	
	苫小牧講演会経費	150,000	
	歴史地震38号印刷・発送代	810,000	1800円×450部
	歴史地震編集費	25,000	査読料, 編集補助謝金等
	HP管理費	10,000	
	会議費	200,000	
	功績賞関連費	100,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	
	合計	1,575,000	
次年度繰越金		3,010,558	

説明資料

(1) 2021 年度会計監査報告書

歴史地震研究会

会長 松浦 律子 様

2021 年度会計監査報告書

歴史地震研究会 2021 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常適正に処理されていることを確認いたしました。ここに報告いたします。

以上

2022 年 8 月 8 日

会計監査

中村 操 

会計監査

植竹 富一 

(2) 会員の現況及び会費受取状況

昨年の総会で報告された会員数 263 名に対し、2021 年度には以下に示す新規入会者 11 名、退会者 4 名及び休会者 3 名があった。さらに 2021 年度会費の滞納によって 2022 年度の会員特典を停止された 11 名を減じ、2021 年度の会員特典停止からの復活 2 名を加えて、2021 年度末の会員数は 258 名となった。また 2020 年度以降の会費が未納の会員 6 名は、会則第 11 条第 2 項に則り除名とした。一方、2021 年度会費は 263 名からの受取があり、これは 2021 年度末までに会費納入義務のある会員 276 名（2020 年度末会員 263 名＋入会者 11 名＋復活 2 名）の約 95%に相当する。

会員の現況

2020年度末会員数	263名
2021年度末会員数	258名
増減	▲5名

会員数増減の内訳

■新規入会者:11名

南怜奈	中島敏雅	諏訪由紀子	山本阿子	漆原惇
北川穂乃香	基峰修	高津英彰	座波健仁	工藤路江
中田みずき	(敬称略, 申請順)			

■退会者:4名

二木敬右	高橋聡	金岡正信	中野祥房
(敬称略, 申請順)			

■休会者:3名

中島敏雅	宇佐美龍夫	永井九一	(敬称略)
------	-------	------	-------

■2021年度会費滞納につき2022年度会員特典停止:11名(休会者2名除く)

■2020年度会費納入につき2021年度会員特典復活:2名

■2020年度以降会費未納につき2021年度末除名:6名

会費受取状況

2021年度会費	263名(会員276名*1の95%)
2022年度会費	4名
2021年度会費未納	13名

*1) 2020年度末263名+入会11名+復活2名

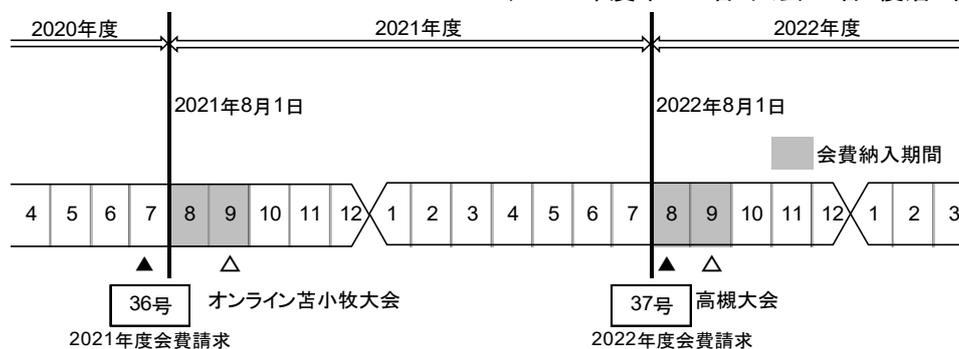


図1 歴史地震研究会の会計年度と年会費の納入期間

(3) 2021年オンライン苦小牧大会の収支報告

2021年オンライン苦小牧大会(2021年9月2日～3日)においては、参加費等の収入及び大会会場費等の支出の両方がゼロであった。